

設備工事情報シート	衛生	Ⅳ－P－7	制 定	2005年4月1日
			改 訂	2015年3月1日
Ⅳ. アフタークレーム	間違いやすい設計・施工事例		雨水配管	

1. 目的・概要

近年の異常気象による大雨で一般的な降雨強度では問題にならなくても、雨水配管について十分な検討を行わないと思わぬ事故になるので、ここに誤りやすい施工例を示す。

2. 不具合事例

雨水立て管最下部の不具合接続事例



同上写真を正面から撮影



(1) 設置状況

1 階共用廊下の側溝排水が上階よりの雨水立て管に接続された状態になっており、その直下部で配管を横引いている。

(2) 不具合状況

一般的な降雨強度の場合は問題はないが、集中豪雨時に雨水立て管が満水状態の為、1 階共用廊下の雨水が排水されず、直近に位置するエレベータに浸水した。

3. 処置方法

最下部の雨水配管取外し



雨水立て管と1 階雨水配管を分離



(1) 是正措置

雨水立て管と1 階の雨水配管を分流のまま地上面まで降ろし別系統にて雨水枳へ接続した。
以後、1 階の排水が雨水立て管の満水状態の影響を受け、排水されなくなることは無くなった。

(2) ポイント

配管内を満水状態で流れる可能性のある種類の配管は上階系統と最下階系統（事故例の場合は雨水立て管と1階開放廊下の側溝排水に該当する）は別系統にすることが望ましい。